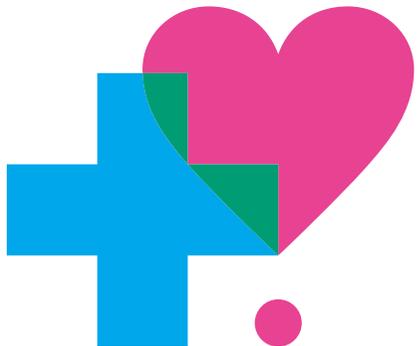


大阪ソリューションセンター 稼働開始



シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[!]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、
シップヘルスケアグループの思いを表象し、
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

第29期 株主通信

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

生命を守る人の環境づくり

 **SHIP HEALTHCARE**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード：3360

役員紹介



代表取締役会長 **再任**
古川 國久



代表取締役副会長 **再任**
小西 賢三



代表取締役副会長 **再任**
小川 宏隆



代表取締役社長 **再任**
大橋 太



取締役副社長 **再任**
沖本 浩一



専務取締役 **再任**
小林 宏行



専務取締役 **再任**
横山 裕司



取締役 **再任**
島田 正司



取締役 **再任**
海野 眞史



取締役 **再任** **社外** **独立**
佐野 精一郎



取締役 **再任** **社外** **独立**
今別府 敏雄



取締役 **再任** **社外** **独立**
伊藤 文代



取締役 **新任** **社外** **独立**
西尾 信也



常勤監査役 **新任**
戸田 成重



監査役 **再任** **社外**
中尾 秀光



監査役 **再任** **社外**
大山 博康



監査役 **新任** **社外**
佐野 信行

グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2021年 スローガン

一点突破とこんにゃく頭

マネジメントメッセージ

『進化』と『成長』はとまらない

経営基盤を強化し、更なる成長を目指す。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、日々治療に当たられている医療従事者の方々には心より御礼申し上げます。

当期は中期経営計画「SHIP VISION 2020」の最終年度に当たり、目標値の達成、重要施策の完遂に全力で取り組んでまいりました。その結果、一部の取り組みで新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、計画最終年度の目標値を概ね達成するとともに、各重要施策においても多くの成果を出すことが出来ました。

現在当社グループを取り巻く環境は、地域医療構想や医療・介護の連携、さらには、ITの利活用によるDXの推進など、従来の枠組みを超えた多岐に亘る知見・技術・ノウハウが必要となっております。

これからも、当社グループが創業来掲げるSHIP理念(Sincere(誠実な心) Humanity(「情」の心) Innovation(革新者の気概) PartnerSHIP(パートナーシップ精神))を基に、これら様々な課題を乗り越え、更なる企業価値・株主価値向上に努めてまいります。

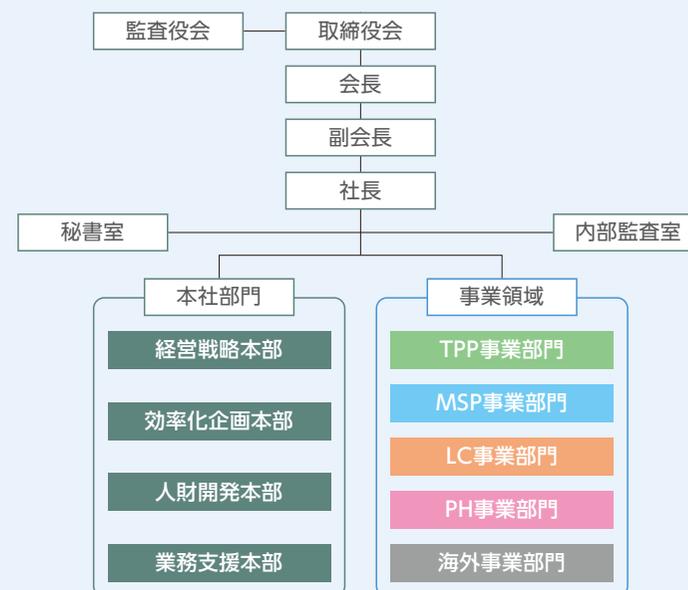
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次なる成長に向けて、新体制をスタート

当社グループは、激動する経営環境の中で常に「旬」を追い、その時代に求められるニーズを的確に捉えながら様々な価値を提供し、持続的な成長を遂げてまいりました。こうした中、2021年3月期を最終年度とする『SHIP VISION 2020』については、目標を概ね達成することが出来ました。日々ご支援くださっております株主の皆様方へ深く御礼申し上げますとともに、次なる目標の連結売上高1兆円を目指し、さらなる取り組みを加速してまいります。

取り組みの第一歩として、当社グループは、従来の組織体制を改革し、新たな経営体制をスタートさせることといたしました。各セグメント毎に担当役員を設けることで同セグメント内のグループ会社の連携をさらに高めるとともに、セグメントを超えた方向感や戦略の共有、統一を図ってまいります。加えて、グループ全体の管理・経営システムの改革として、グループ全体を統括し、さらなるグループの成長を図る「経営戦略本部」、ITの利活用・事業の効率化を図る「効率化企画本部」、当社の最大の資産である人財を育てる「人財開発本部」、事業を下支えする「業務支援本部」を新たに設置し、従来の枠組みを超えたグループの発展を目指し、経営基盤を強化してまいります。これらの組織改革により、グループガバナンスを強化すると同時に、新たなグループシナジーの創出、グループ力の最大化を目指し、シッパヘルスケアグループ一体となって再発進してまいります。

■ 新体制図



中期経営計画の総括

中期経営計画『SHIP VISION 2020』を完遂

当期業績と中期計画

厳しい経営環境の中、中期計画を概ね達成

中期経営計画『SHIP VISION 2020』の最終年度に当たる当期の経営環境は、新型コロナウイルスの感染者数の高止まりにより経済・社会活動が大幅に制限され、当社グループが属する医療業界においても厳しい状況が続いております。このような中、トータルパッケージプロデュース(TPP)事業においては、プロジェクト案件が例年に比べ中小型で推移したものの、感染症対策商品・仮設の発熱外来ユニットや簡易型陰圧装置の開発・販売等の新たな取り組みが奏功いたしました。メディカルサプライ(MSP)事業においても、グループ内の連携、効率化の改善により業績は堅調に推移いたしました。グループ全体においてはコロナ禍により様々な影響を受けつつも、感染症対策として取り組んだ「エアネス」の新シリーズや「SHIPマスク」をはじめとする感染症対策関連の売上が業績を押し上げました。この結果、売上高は中期経営計画の計画値5,000億円をわずかに下回ったものの、収益面においては営業利益が中期計画比3.8%増、親会社株主に帰属する当期純利益が中期計画比1.5%増となりました。

業績結果

(単位:百万円)

	2020/3	2021/3	増減率(額)	中期計画	達成率
売上高	484,395	497,156	2.6%	500,000	99.4%
営業利益	18,794	21,800	16.0%	21,000	103.8%
経常利益	19,931	21,761	9.2%	※21,000	103.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	11,803	12,280	4.0%	※12,100	101.5%
1株当たり配当金(円)	75.0	80.0	5.0円	30%以上	達成
5期連続増配中	配当性向30.2%	配当性向30.8%			

※中期計画では計画値を設定していないため、期初予想を掲載しています。

※配当金額につきましては、2021年4月1日付の1:2の株式分割前の実際の金額を記載しています。

重点施策の進捗と成果

変化に強いヘルスケア企業集団の実現

本中期経営計画では経営・事業基盤の強化・拡充を進めながら、4つの重点施策の下、事業領域の拡張、各セグメントの高成長や株主還元強化などに取り組んでまいりました。事業領域の拡張においては、大阪重粒子線センターなどのヘルスケアサービス事業の確立に加え、感染症対策として提案する「エアネス」の新シリーズや「SHIPマスク」をはじめとした、BtoC分野へ本格的に進出をしております。また、このBtoC分野への進出などを契機に、「SHIPブランド」の認知拡大を進め、事業の裾野を広げてまいりました。各セグメントの高成長においては、規模拡大や新たなノウハウ獲得に向けた海外を含むM&A・協業を継続して行っている他、次世代型医療材料物流を可能にする自動倉庫「大阪ソリューションセンター」が稼働を開始しております。一方、株主還元強化においても、増配・配当性向30%以上を維持しつつ、合計約50億円の大規模な自己株式取得を実行いたしました。

このような中、本中期経営計画策定時には想定していなかった新型コロナウイルス感染症が発生し、様々な社会・業界における変化がありました。しかし、「変化に強いヘルスケア企業集団」としての実力を発揮し、コロナ禍においても全社、全役職員が結束し、中期計画を達成することができました。

重点施策の主な成果

1 コア事業の更なる高成長 <ul style="list-style-type: none"> ■ 既存四事業を中心にコア事業の更なる成長を加速 ■ IT基盤、拠点の集約、カイゼン活動による経営力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・IT基盤の構築を推進。コロナ禍で一気に働き方改革が進む。 ・医療材料物流に革新をもたらす「大阪ソリューションセンター」が竣工。(MSP) ・全国一体経営を推し進め、ほぼ100%の高稼働率を維持。(LC) ・カイゼンオリンピックの継続によるカイゼン活動の定着。
2 第五の事業領域 ヘルスケアサービス事業の構築 <ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外のヘルスケアサービス事業確立 ■ 既存事業拠点を起点とするビジネスチャンスの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪重粒子線センターが2018年10月より治療を開始し、累計約1,200人の治療実績。 ・パングラデシユ病院運営事業が2021年夏頃にグランドオープン予定。 ・国際法務センターは概ね計画通り
3 積極的なM&A展開 <ul style="list-style-type: none"> ■ 積極的・戦略的M&A実施による、コア事業の面展開を更に補充・拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年4月にミャンマー最大の医療機器・設備販売会社の2社を子会社化。(TPP) ・2020年5月に株式会社チャーム・ケア・コーポレーションと業務提携。持分法適用関連会社へ。 ・2020年11月に株式会社ワンテーブルの第三者割当増資を引き受け。KKB事業を企画。
4 株主還元強化 <ul style="list-style-type: none"> ■ 配当性向30%以上の確保 ■ 機動的な自社株買い 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中、約50億円の自己株式取得を実施。 ※この他、新株予約権付き社債の発行に併せ、100億円の自己株式取得を実施。 ・期間中、配当性向30%以上を維持。

大阪ソリューションセンターが2021年6月より本格稼働



価値ある物流を、未来の医療へ次世代型医療材料物流 「スマートメディカルソリューション」

グループ会社である小西医療器株式会社を中心となり開発・準備を進めてまいりました医療物流に革新を生み出す最新の医療材料物流拠点「大阪ソリューションセンター（以下、大阪SC）」が2021年6月に本格稼働を開始しております。大阪SCは、医療材料業界において最先端の取り組みを発信する起点となるべく、オープンイノベーションを取り入れ、多くのメーカーの参加による共同開発により無人搬送車（AGV）や自動倉庫、最新のモーターローラ等の自動物流設備や、RFID技術を駆使した医療材料管理等、様々な業界初のソリューションを展開しております。当社グループでは、大阪SCが実現する次世代型医療材料物流を「スマートメディカルソリューション」と名付け、医療材料業界の課題解決に向けた総合的なソリューションを提供してまいります。現在、大阪SCは関西圏を中心とした医療施設への運用を徐々に拡大しており、今後はグループ全体での連携も視野に入れて、運用施設のさらなる拡大を図ってまいります。当社グループは、大阪SCの本格稼働によりグループで展開するメディカルサプライ事業におけるSPDの差別化、競争力の強化を図り、さらなる事業拡大を目指してまいります。

※SPD(Supply Processing and Distribution):物品の供給・在庫管理・加工等の物流管理を中央化／外注化することにより、医療現場の物品を柔軟かつ円滑に管理する方法。

主な特徴

絆創膏1枚から計量! 業界初の自動梱包機

絆創膏1枚から計量できる高度な技術を取り入れた自動梱包機を導入し、大幅な省人化及び効率化を図ります。また、小分け時に重量検品・入荷登録を同時に行うことで作業ミスへのリスクも防ぎます。



自動梱包・RFID 貼付機
(SpeedMa Auto Pack)



RFID ラベル自動貼付システム
(スキャントロニクス®CL4NX-J_RFI/CL4NX-J12)

RFID棚での24時間常時棚卸しによる 高精度な在庫管理

業界で初めて小分け単位及びすべての医療材料にRFIDタグを貼付し、それらの医療材料をRFID読み取り機能を備えた在庫棚で管理することで24時間常時棚卸しを行います。これにより、在庫管理の精度が向上するとともに出荷ミスを未然に防止し、より正確な医療材料供給を実現します。



在庫常時監視棚による在庫管理
(レコピック®)

高い生産性を実現する 最新自動物流設備

無人搬送車（AGV）や自律型協働ロボットを導入し、従来のピッキング作業の生産性向上を実現しています。また、業界初のRFIDに対応した自律型協働ロボットはピッキング場所への誘導だけでなく、ピッキングした医療材料を瞬時に認識する機能を備えており、これらの技術により誰でも簡単にミスなくピッキング作業を行うことが可能になります。



無人搬送車（AGV）
(小型無人搬送ロボット「Racrew」)



自律型協働ロボット
(PEER SpeedMa+)

医療材料を清潔に保管。 抗ウイルス液剤噴霧システム

物流業界で初めての試みとなる抗ウイルス液剤噴霧システムを導入し、ウィズコロナ/アフターコロナの両時代において医療材料を常に清潔な状態で管理します。



抗ウイルス液剤噴霧システム
(ナノガード)

トピックス

大阪重粒子線センター、 累計約1,200人の治療実績を達成

コロナ禍による受診抑制を受ける中、
多くの患者様のがん治療に貢献

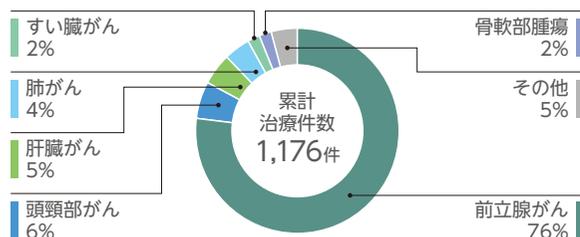


第5の事業領域「ヘルスケアサービス事業」の柱である大阪重粒子線センターでは2018年10月の治療開始より現在までに、累計約1,200人のがん患者様を治療いたしました。当施設は、民設・民営として国内初となるもので、医療機関との連携、国内有数のエンジニアリ

ング会社との協働、海外からの視察団の受け入れなど、グループ事業にも大きな波及効果を及ぼしております。

また、公的医療保険の適用が拡大したことに伴い、より多くのがん患者の皆様へ、重粒子線がん治療を受けていただく機会が増加しております。当社グループは、今後も最先端のがん治療である重粒子線治療の啓蒙・周知活動を強化し、がん治療を受けるすべての方へ最適な治療機会を提供してまいります。

累積治療件数 (2021年3月31日現在)



新たなビジネス領域「KKB」の構築・育成を加速 K(環境)・K(感染)・B(防災)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、再認識された重要な社会課題への対応を強化

当社グループは、「医療」「保健」「福祉」「介護」「サービス」分野に特化し事業を行ってまいりましたが、各分野は複雑に絡み合いながら、その裾野を広げております。また、国連が唱える「持続可能な開発目標(SDGs)」や新型コロナウイルス感染症の流行、さらには、災害大国と呼ばれるわが国の現状など、グループミッションである「生命を守る人の環境づくり」の遂行において、今後取り組むべき課題が浮き彫りとなってきております。こうした中、当社グループは、新たなビジネスとして社会が直面する災害などの課題解決に向けたKKB事業の構築を進めております。当期におきましては、新型コロナウイルス感染症対策として医療機関向けに発熱外来ユニットや簡易隔離ユニットなどを開発・提供し、また、「エアネス」の新シリーズや「SHIPマスク」等のPB商品を積極的に提案いたしました。さらに、防災ソリューション事業を展開する株式会社ワンテーブルと提携し、「医療」×「防災」産業の創出を目指してまいります。

当社グループは、このような事業を通して持続可能な社会に貢献するとともに、グループの長期的成長を目指してまいります。



発熱外来ユニット



簡易隔離ユニット



SHIPマスク



エアネス新シリーズ



非常食ライフストックゼリー
※株式会社ワンテーブルと提携

2021年4月1日を効力発生日とする1:2の株式分割を実施

当社は、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様へ、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性向上を図ることを目的に、2021年4月1日を効力発生日とする普通株式1株につき2株の割合の分割を実施いたしました。

株式分割の概要

基準日	2021年3月31日(水)
効力発生日	2021年4月1日(木)
株式分割前の発行済株式総数	50,834,700株
株式分割後の発行済株式総数	101,669,400株

業績の概要

主要経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3(予想)
売上高	408,487	425,566	444,048	484,395	497,156	530,000
営業利益	16,055	18,259	17,952	18,794	21,800	22,500
経常利益	16,478	18,935	18,532	19,931	21,761	22,500
親会社株主に帰属する当期純利益	9,410	10,350	11,236	11,803	12,280	12,500
総資産	263,456	285,181	299,212	308,873	334,498	—
純資産	93,632	102,354	97,734	104,681	115,103	—

セグメント情報 (2020年4月1日~2021年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、例年と比べ小型のプロジェクト案件が多く従来型のビジネスは低調に推移いたしました。感染症対策商品・仮設の発熱外来ユニットや簡易型陰圧装置の開発・販売等、新たな取り組みが奏功いたしました。また、ミャンマー連邦共和国における治安悪化の影響が広がりつつありましたが、概ね計画通り推移いたしました。

以上の結果、売上高は99,959百万円(前連結会計年度比0.7%減)、セグメント利益(営業利益)は9,634百万円(前連結会計年度比0.1%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、償還価格の改定及び期初の新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関の受診抑制や診療材料需要減少の影響を受けましたが、感染症対策商品の販売強化、グループ内の連携、経営効率化に努めた結果、業績は堅調に推移いたしました。また、業界初となる自動倉庫「大阪ソリューションセンター」が竣工いたしました。

以上の結果、売上高は337,244百万円(前連結会計年度比3.6%増)、セグメント利益(営業利益)は6,715百万円(前連結会計年度比33.4%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、全国一体経営による経営効率化が進むとともに、嚴重な感染症対策が奏功し、高い入居率を維持することができました。

以上の結果、売上高は24,571百万円(前連結会計年度比2.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2,237百万円(前連結会計年度比26.4%増)となりました。

調剤薬局事業

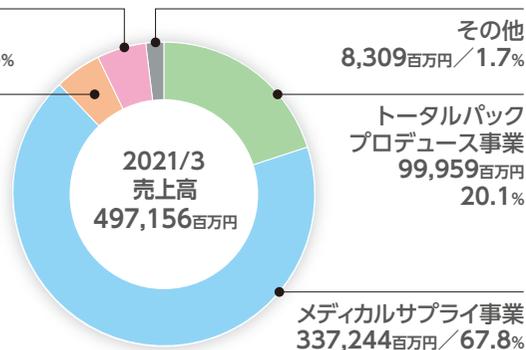
調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、経営効率化や小型店舗のM&Aの積み重ね等により、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は27,070百万円(前連結会計年度比0.1%増)、セグメント利益(営業利益)は2,884百万円(前連結会計年度比8.4%増)となりました。

調剤薬局事業
27,070百万円 / 5.5%

ライフケア事業
24,571百万円
4.9%

セグメント別
売上高
構成比



その他

その他におきましては、動物病院の運営、セキュリティサポート会社及び建物総合管理会社の業績は概ね計画通り推移いたしました。以上の結果、売上高は8,309百万円(前連結会計年度比17.7%増)、セグメント利益(営業利益)は591百万円(前連結会計年度比31.5%増)となりました。

株式関連情報

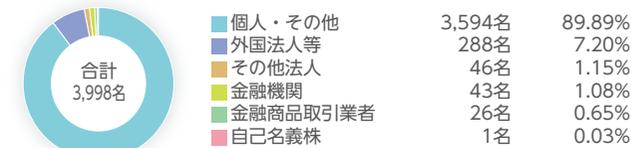
(2021年3月31日現在)

株式の状況

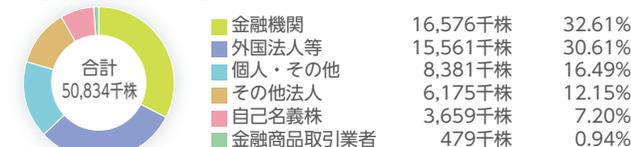
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	50,834千株
株主数	3,998名

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
※ 株式数は、5頁に記載の株式分割前の数値です。

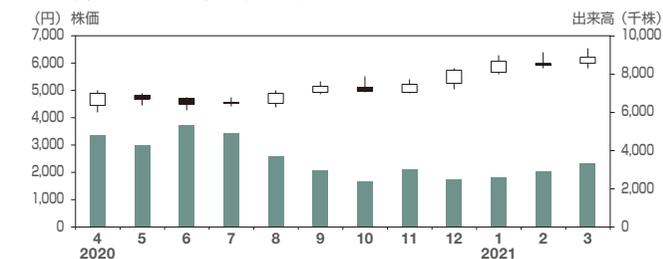
大株主の状況

[保有株式数] [持株比率]

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,732千株	10.03%
株式会社ココロ	3,988千株	8.46%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,911千株	8.29%
JP MORGAN CHASE BANK 380072	1,496千株	3.17%
春日興産合同会社	1,400千株	2.97%
全国共済農業協同組合連合会	1,376千株	2.92%
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,264千株	2.68%
古川 國久	1,236千株	2.62%
古川 幸一郎	1,230千株	2.61%
小西 賢三	796千株	1.69%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。 ※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※ 当社は、自己株式3,659,527株を保有しておりますが、上記の上位10名からは除外しております。

株価・出来高の推移



会社情報

会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立	1992年8月
代表取締役会長 CEO	古川 國久
代表取締役社長 COO	小川 宏隆
資本金	155億5,301万円
決算月	3月
従業員数	連結 6,769名(正社員) 13,016名(従業員)
本社所在地	〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号 TEL: 06-6369-0130 FAX: 06-6369-3191

役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役会長	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役副会長	小川 宏隆
代表取締役社長	大橋 浩太
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	小林 宏行
専務取締役	横山 裕司
取締役	島田 正司
取締役	海野 眞史
取締役(社外)	佐野 精一郎
取締役(社外)	今別府 敏雄
取締役(社外)	伊藤 文代
取締役(社外)	西尾 信也
常勤監査役	戸田 成重
監査役(社外)	中山 秀光
監査役(社外)	大尾 博康
監査役(社外)	佐野 信行

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>



株主メモ

事業年度	4月1日～3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月中
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告によりおこなう 公告掲載URL https://www.shiphd.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

英文ホームページはこちら

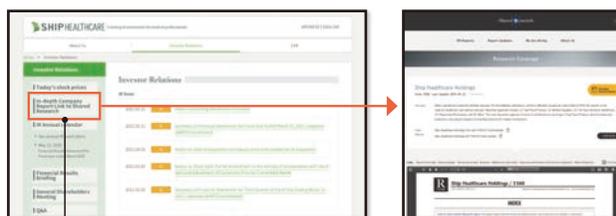
English website



<https://www.shiphd.co.jp/en/>

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check <https://sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.



▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

アンケートのお願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ①1ヶ月以内
- ②2～5ヶ月前
- ③6ヶ月以上前
- ④1年以上前
- ⑤株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えください。

- ①中長期的に保有する
- ②短期で考えている
- ③買い増しする
- ④投資収益に応じて売却する
- ⑤未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大
- ②ビジネスモデルの強化
- ③経営の効率化
- ④収益性
- ⑤安定性
- ⑥株主政策の強化
- ⑦その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ①株主通信
- ②ホームページ
- ③株主総会
- ④個人投資家向け説明会の開催
- ⑤その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ①マネジメントメッセージ
- ②中期経営計画の総括
- ③大阪ソリューションセンター
- ④その他トピックス
- ⑤業績の概要
- ⑥株式関連情報及び会社情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ①大変満足している
- ②ある程度満足している
- ③普通
- ④あまり満足していない
- ⑤不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。